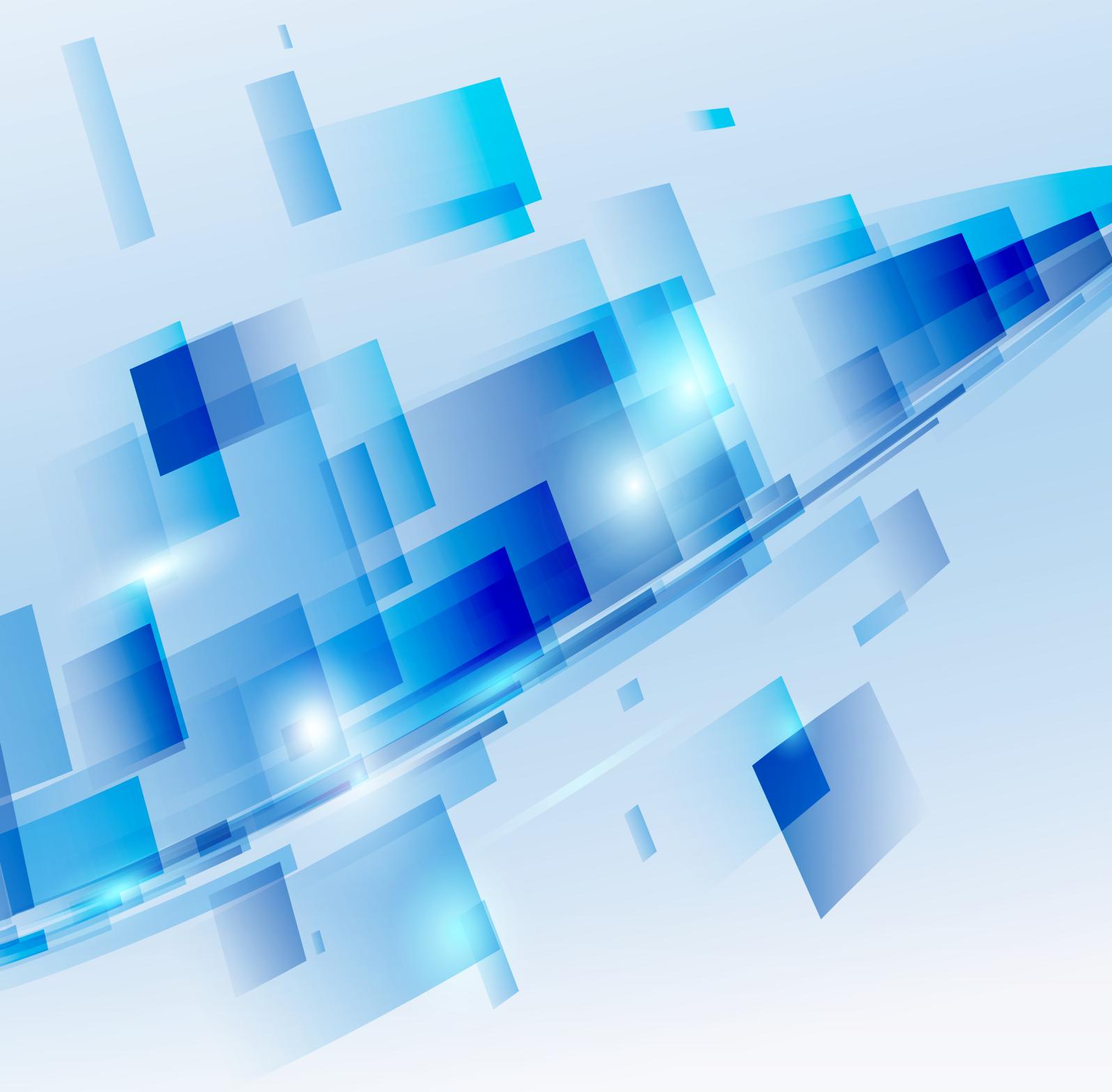


Connectors & Sensors
航空電子
www.jae.com



会社案内



Technology to Inspire Innovation

Technology to Inspire Innovation

企業理念

『開拓、創造、実践』

限りなく変化する社会のニーズに応じて、たえまなく開拓し、創造することが企業の使命である。

広大な宇宙にあって、恒に自転し周行し乍ら止む事の無い変化の中に、

無限の安定と希望を人類に与えつづけている地球に企業本然の姿を求むべきである。

開拓と創造は独立自由の環境に生れ、たゆまぬ探究と自ら困難を打開する行動によって育つ。

此の原理を**実践**し、益々社会に貢献する事こそ企業の目的であり、発展の根本である。



日本航空電子工業の初代社長として、トランス1個の修理5ドルの受注からスタートした後、熾烈な競争のなかでの年間契約の獲得や、自らトップ交渉に臨んだ海外大手企業との技術提携実現など、卓越した行動力と先見の明によって当社の基礎を築きました。社長、会長として20年以上にわたって当社の経営を担い、企業としての基本的姿勢を定めたことも大きな功績です。創立20周年に際し、事業のさらなる発展を目指して沼本会長(当時)が掲げた当社の企業理念『開拓、創造、実践』は、現在も社内に脈々と受け継がれています。

創業者
沼本 實

私たちは創業以来、『開拓、創造、実践』の企業理念のもと、独自の革新的、創造性に富んだ高い技術・開発力を背景に、「コネクタ事業」「インターフェース・ソリューション事業」「航機事業」の3つの事業をグローバルに展開し、発展してまいりました。

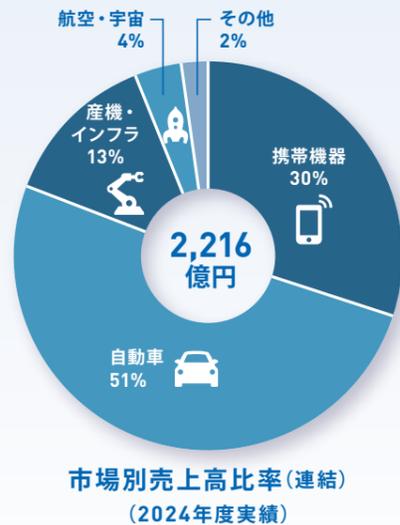
“Technology to Inspire Innovation”「当社の開発する技術が、お客様の独創的な商品開発に新しい扉を拓きます。」をグローバルスローガンとして、お客様のイノベーション実現を加速する技術開発・ものづくりに注力しております。そして、世界のお客様からパートナーとしての高い信頼をいただくため、「連結経営を基軸としたグローバルな事業展開」「グローバルマーケティングと技術開発力の強化」「品質・ものづくりの革新」を経営の基本方針として推進しております。

これからも、航空電子グループの全社員が良き企業市民として21世紀の豊かな社会づくりに貢献できる企業を目指します。



社長 村木 正行

商号 日本航空電子工業株式会社
英文名 Japan Aviation Electronics Industry, Limited
創業 1953年8月20日
本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-21-1
資本金 106億90百万円
売上高 2,216億円(2024年度)
上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場 証券コード 6807
航空電子グループ従業員数 10,154名(2025年3月末)
 国内3,199名／海外6,955名
航空電子グループ会社数 29社(2025年7月現在)
 国内12社／海外17社
 内連結子会社 国内7社／海外12社



■ 売上高
 ■ 海外売上高
 ※1953～81年度は単独業績 1982年度以降は連結業績
 ※海外売上高は1996年度以降を記載



創業

1953.8
 本店を東京都港区(日本電気株式会社内)におき創業

1954.8
 川崎市(日本電気株式会社玉川工場内)に工場設置
 「航空機用電子機器の修理、オーバーホール」開始



1954年当時の工場(玉川工場内)

1955.8
 米国キャノン・エレクトリック社との技術援助契約により「コネクタ」および「ソレノイド」の製造開始



コネクタ

3事業の基礎を確立

1961.4
 昭島工場(現昭島事業所)完成、川崎市より移転



1964年頃の昭島事業所

1961.5
 本店を東京都渋谷区に移転

1961.8
 米国ハネウェル社との技術援助契約により、「F-104J用」自動操縦装置」「燃料計」「液体酸素量指示計」「ジャイロ機器」など製造開始



ジャイロ群

1962.2
 「無接点スイッチ、リレー」の製造開始

1963.12
 国鉄新幹線用「車両電気連結器」を開発、販売開始

1973.4
 東京証券取引所市場第二部へ上場

積極的な海外展開

1977.3
 米国カリフォルニア州にゼット・マーケティング・カンパニー(現 JAE Electronics, Inc.)を設立(初の海外子会社)



設立当時のゼット・マーケティング・カンパニー

1980.9
 東京証券取引所市場第一部へ上場

海外拠点の整備

1984年に台湾、1988年米国オレゴン州、1994年から2003年にかけては香港、シンガポール、韓国、フィリピン、イギリス、中国(無錫、吳江、上海)に生産、販売拠点を設立し、グローバル展開を進めました。

成長市場でのビジネス拡大

2003.9
 HDMI™規格準拠次世代デジタルインターフェースコネクタ「DC1シリーズ」を開発、販売開始

2004.6
 「航空電子グループの森」開設



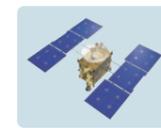
航空電子グループの森(東京都・奥多摩町)

2009.1
 HDMI™技術(コネクタDC*シリーズ)の普及に貢献し、米国エミー賞受賞



エミー賞トロフィー

2010.6
 当社製「サーボ加速度計」を搭載した小惑星探査機「はやぶさ」が帰還



小惑星探査機「はやぶさ」©JAXA

2012.1
 車載用静電タッチパネル「TC230シリーズ」を開発、販売開始

2015.4
 USB規格「Type-C®」準拠のインターフェースコネクタ「DX07シリーズ」を開発、販売開始



USB Type-C®コネクタ

2018.11
 「第42回全国育樹祭」にて東京都緑化等功労者として感謝状を授与される



全国育樹祭 感謝状

2019.3
 東京大学生産技術研究所と「産学連携研究協力協定」を締結

2020.2
 「Derwent Top 100 グローバル・イノベーション2020」を受賞(3度目)

2022.4
 東京証券取引所 新市場区分「プライム市場」に移行

2024.2
 当社製「慣性センサユニット(IMU)」を搭載したH3ロケット試験機2号機が打ち上げ成功。キー技術担当事業者として、宇宙航空研究開発機構(JAXA)より感謝状を授与される

2025.3
 インドでの二輪車／四輪車向けビジネス拡大のため、長瀬産業株式会社との合併によりJAE Electronics India Pvt. Ltd.を設立

※ HDMI, High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Administratorの商標または登録商標です
 ※ USB Type-C®はUSB-IFの商標です

持続可能な社会の実現を目指して

事業活動を通じて社会課題の解決を目指す5つの重点領域

航空電子グループは、事業活動を通じて社会課題の解決を目指す5つの領域において、お客様との協創により社会価値の創出に寄与するとともに、社会の一員としての責任を果たしていきます。

お客様との協創による社会への貢献
<https://www.jae.com/csr/areas/>



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

事業活動を通じた社会課題の解決



CONNECTED SOCIETY

世界の人々が相互につながる健康的で快適な社会



SAFE MOBILITY

安全・安心なモビリティ社会



CLEAN ENERGY

環境にやさしいエネルギー社会



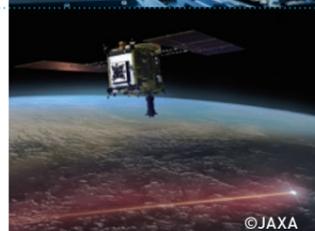
INDUSTRIAL INNOVATION

効率的で安全な生産活動



AIR, SPACE AND OCEAN

航空・宇宙・海洋フロンティアの開拓



©JAXA

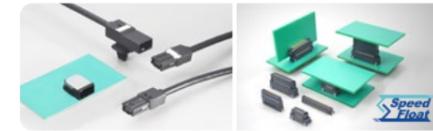
3つの主力事業

私たちは3つの事業において、革新的で創造性に富んだ技術・製品の提供を通じてお客様とともにイノベーションを創出し、社会へ価値を提供しています。

コネクタ事業

コネクタは電気／光などの信号を接続する電子機器のキーデバイスです。高度で信頼の「つなぐ」技術で、進化するIoT社会を支えています。

自動車



車載USB 3.2対応コネクタ フローティングコネクタ

産機・インフラ



防水丸型インターフェースコネクタ EV充電用コネクタ

携帯機器

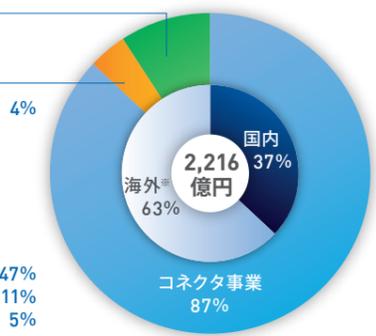


携帯機器向けフルシールドスタッキングコネクタ USB Type-C® コネクタ

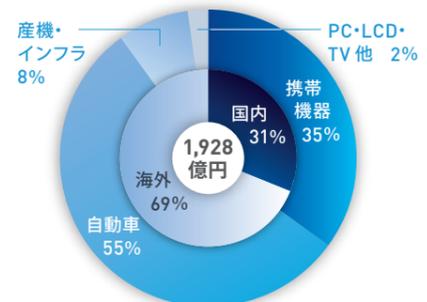
ワイヤレス



高性能表面実装アンテナ 高性能PCB/FPCアンテナ



事業別売上構成比率(連結)
(2024年度実績)



(2024年度実績)

インターフェース・ソリューション事業

入力デバイス技術を軸にした『人と機器をつなぐ』製品を開発、「使う人」「使う環境」に合わせた最適なソリューションを提供しています。



自動車

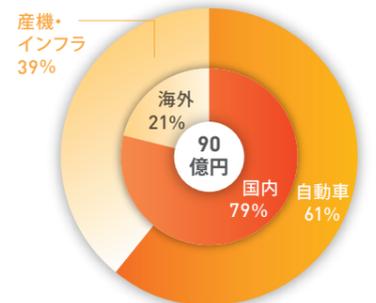


車載用静電タッチパネル 防汚・低反射パネル

産機・インフラ



産業ロボット用ペンダント パネルユニット



(2024年度実績)

航機事業

創業時より追求してまいりました「モーションセンス&コントロール(動きを検出して制御する技術)」で、海底から宇宙まで過酷な環境下で作動する高精度な製品を提供しています。

産機・インフラ/自動車

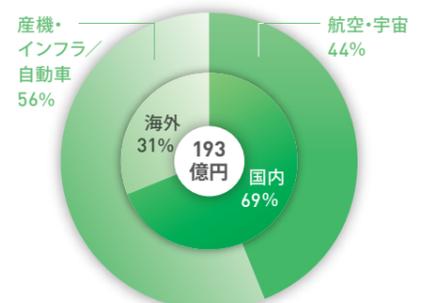


MEMS慣性装置 高推力真空対応リニアモーター

航空・宇宙



ロケット用慣性センサユニット ドローン向け高信頼性フライトコントローラー



(2024年度実績)

サステナビリティへの取り組み

サステナビリティ経営の推進

航空電子グループは、サステナビリティ経営の推進にあたり、2024年4月にサステナビリティ推進室を設置し、グループにおけるサステナビリティの重要課題に組織的・体系的に取り組む体制を整えました。また、同じく2024年4月に執行役員等を委員とするサステナビリティ推進委員会を設置して、サステナビリティに関連するガバナンス体制を再構築し、本委員会が、今後のサステナビリティに関連する方針や戦略についての審議・策定・指示並びに重要案件の経営会議・取締役会への報告を行います。これらの体制強化を通して、サステナビリティ経営の推進をさらに加速してまいります。

航空電子グループのサステナビリティ
<https://www.jae.com/csr/>



マテリアリティの設定

航空電子グループを取り巻く多くの社会課題を抽出し、当社が今後も持続的成長を実現していく上で必要なサステナビリティに関するマテリアリティ(重要課題)を、今回新たに設定いたしました。今後は、これらのマテリアリティの具体的な取り組みを通じて、サステナビリティ経営の更なる強化と推進を図ってまいります。

マテリアリティ詳細
<https://www.jae.com/csr/materiality/>



分類	マテリアリティ	SDGs 目標	重点施策
環境 (E)	気候変動対策	7, 12, 13	省エネと再エネ導入等による温室効果ガス削減
	循環型社会の促進 (循環型社会への貢献)	6, 12, 14	資源の有効活用
	生物多様性の保全	6, 15	生物多様性への理解及び意識向上を図る
社会 (S)	多様な人材の活躍推進	5, 8, 10	年齢、性別、国籍、障がいの有無にとらわれず、多様な人材の活躍を推進
	人材育成と社内環境整備	4, 8	競争力確保のための人材育成とキャリアを形成し活躍できる職場環境の実現
	従業員の健康と安全の確保	3, 8	安全で快適な職場環境下で一人ひとりが心身の健康を実感しながら能力を発揮
	人権尊重	10, 16	人権デューデリジェンスへの取り組みの強化
ガバナンス (G)	サステナブル調達	10, 12, 13, 16	サプライチェーンにおいて環境や人権に配慮しながら、持続可能な調達を達成
	コーポレートガバナンスの強化	16	取締役会の実効性の向上 指名・報酬委員会を通じた独立社外取締役との連携強化
	リスクマネジメントの強化	11, 16	持続的成長を阻害するリスクの特定および、顕在化したリスクについての情報を共有・対策の見直し

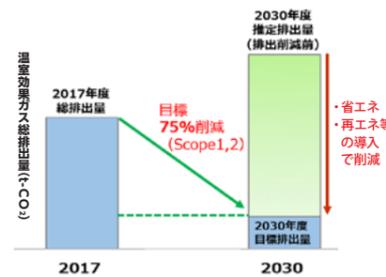
温室効果ガスの排出量削減

●排出量削減の活動と、2050年度までのカーボンニュートラルを目指して

航空電子グループは、気候変動対策を喫緊の課題と捉え、2050年度までにカーボンニュートラルを目指しており、削減活動として施設・設備の高効率化、照明のLED化等の省エネ施策を推進することにより、電力購入そのもののミニマイズ化を図り、不足分について、自家発電や再生可能エネルギー由来の電力への転換などで対応することとしています。

●2030年度「2017年度比75%削減」に向けて

従来目標の達成を受け、2024年度再設定した2030年度に向けた温室効果ガス総排出量の削減目標は、2030年度の温室効果ガス総排出量(Scope1,2)を、グローバル生産ベースで、2017年度比75%削減としています。



Scope3について
 Scope3削減の重要性は認識しており、これまでと同様にサプライヤー様と協力して削減努力を継続していくとともに、今後は具体的な削減目標を設定して取り組むことを検討していきます。

生物多様性への取り組み

航空電子グループでは、私たちの生活が多くの生物の恩恵に浴し、事業活動においても少なからず生物の環境に影響を及ぼすことを認識し、環境方針の基本理念にも「生物多様性の尊重」を掲げています。

私たちは、原材料を直接的に生物資源へ依存していません。しかし、事業活動は地球温暖化や資源問題、化学物質などと密接に結びついています。そこで、それらへの対策の実践と拡充を生物多様性への取り組みとして位置づけ、以下に掲げた「生物多様性への取り組み宣言」のもと実直な活動を続けてまいります。

1. 生物多様性を尊重した環境経営の推進
2. 生物多様性の意識啓発とサプライチェーン展開
3. 航空電子グループの森等、地域社会と連携した生物多様性保全活動の推進

東京・奥多摩の「航空電子グループの森」

「航空電子グループの森」は、2004年6月に東京都農林水産振興財団の分収林事業に参画し、「企業の森」第1号として開設されました。以来、当社の環境経営のシンボルとして、植林や下草刈りなどの活動を通して、グループ社員の森林保全体験による環境意識啓発の場とし、生物多様性の保全、温室効果ガス(CO₂)の吸収並びに水源の涵養(かんよう)に貢献しています。



食害対策用ネットの手入れ

「航空電子グループの森」の紹介動画
<https://vimeo.com/716619906>



ダイバーシティ推進と人材育成

航空電子グループの将来の発展に向けた事業構造の改革および事業力強化のための人材戦略として、「多様な人材の活躍推進」、「人材育成の強化」、「社内環境整備」を進めています。

●多様な人材の活躍推進

年齢、性別、国籍、障がいの有無にとらわれず、多様な人材が活躍できる職場環境の実現に向けた取り組みを推進しています。特に女性活躍推進については、女性社員の積極的採用、女性管理職登用にに向けた選抜研修の実施等を強化しています。

●人材育成の強化

グローバル市場における競争力を確保するため、および経営環境の急速な変化に対応するために、社員個々人のスキルアップを図ることが重要と認識し、階層別研修や職能別研修を体系的に整備するとともに、社員が将来を見据えて自律的にキャリアを形成できるよう、自己啓発を促すプログラムの設定や、幹部人材の育成を図るための選抜研修を導入しています。また、ものづくりの技能伝承を目的とした教育、資格取得の強化も図っています。

●社内環境整備

安全で働きやすい職場環境の実現と働きがいを持って活躍できる職場の実現を目指しています。具体的には、柔軟な働き方の選択によりワーク・ライフ・バランスを実現できる在宅勤務制度、フレックスタイム制度の導入や、育児・介護と仕事の両立を支援する各種制度を整備しています。

取り組みの詳細については、以下のデータベースを参照ください。

両立支援のひろば 一般事業主行動計画公表サイト https://ryouritsu.mhlw.go.jp/hiroba/search_dtl.php?cn=6028
 女性の活躍推進企業データベース <https://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/positivedb/detail?id=675>



両立支援のひろば



女性の活躍推進企業データベース

TOPICS

日本経済新聞社の「日経サステナブル総合調査SDGs経営編、スマートワーク経営編」の2024年度調査において、いずれも3つ星を獲得しました。今後も、サステナビリティ経営の推進と一層の強化を進めていきます。



航空電子グループは、創業以来『開拓、創造、実践』の企業理念のもと、技術の会社・ものづくりの会社として、社会・お客様のイノベーションを実現する新しい扉を拓くべく研究開発に取り組んでいます。

商品開発センターでは基礎・応用技術の研究開発を主体に、コネクタ事業、インターフェース・ソリューション事業、航機事業の技術部門では、固有のコアテクノロジーを磨くとともに各事業に関する新製品、新製法の開発を主体に研究開発活動を実施しています。

当社の保有するコアテクノロジーで、「5Gで繋がる環境にやさしいモビリティ・IoT社会」の実現を目指します。

コアテクノロジー

「5Gで繋がる環境にやさしいモビリティ・IoT社会」の実現に向けて
コアテクノロジーを展開・拡張

コネクタ事業

- 接触信頼性技術
- 高速伝送設計技術／シミュレーション評価技術
- プレス・モールド加工・表面処理技術
- 精密組立加工・自動化技術
- 高性能アンテナ設計技術／シミュレーション評価技術



航機事業

- 高精度
モーションセンシング技術
- 高信頼性
モーションコントロール技術
- 精密メカトロニクス技術
- 極限環境対応技術

商品開発センター

- 材料分析、伝送評価技術(AI利用による解析技術を含む)
- 次世代型の材料加工技術(薄膜形成、ナノ構造形成など)
- 次世代型の実装技術(表面処理、接合など)
- 次世代センシング技術(データマイニング、センサモジュール化など)
- センサハイブリッド技術(データ統合化、ソフトウェアなど)

インターフェース・ソリューション事業

- コンバーティング技術*
- 操作感触技術
- タッチ入力技術
- スイッチ接点技術
- 高精度機構設計技術
- 車載・耐環境性設計技術

*高細線印刷、異種材料貼合、コーティング、ラミネーティングなどの要素技術を組合せることで新たな価値を創造する技術

産学連携による協創プロジェクト

東京大学生産技術研究所と「産学連携研究協力協定」を締結しています

当社は東京大学生産技術研究所と、次世代モビリティ・IoT社会の実現と発展を支えるための共同研究の推進、および研究開発人材の育成を目的として「東京大学生産技術研究所・日本航空電子工業株式会社 産学連携研究協力協定」を2019年3月に締結し、包括的な連携を推進しています。

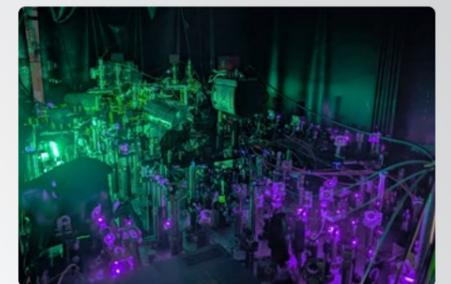
● 連携の進捗・成果

本協定に基づいて、新たな金属加工技術、フレキシブル接続技術などの研究活動を終え、社内で実用化・製品化に向けて取り組んでいます。現在は当社の3つの事業グループから若手技術者が生産技術研究所に派遣されており、学術的知見に基づいた研究活動の推進と同時に、研究所内外の人的交流による視野の拡大など、人材育成の面でも成果を上げています。



産学連携による次世代慣性航法装置の研究開発 (量子ジャイロスコープおよび重力勾配計)

慣性航法装置は、加速度計とジャイロスコープから構成され、外部信号に頼らず自らの位置を推定することが可能です。高性能な慣性航法装置は、移動体の「自動運転における安全性」や「海洋資源探査の効率化」、さらには「大規模地震のリスク評価」といった幅広い用途への貢献が期待されています。当社では、より高性能な慣性航法装置を実現すべく、東京科学大学との共同研究において量子ジャイロスコープの研究開発を推進しております。また、科学技術振興機構のプロジェクト※へ参加、重力勾配計の研究開発に取り組んでおります。



量子ジャイロスコープの研究開発風景



※ 経済安全保障重要技術育成プログラム “非GNSS高精度航法装置の研究開発” (JPMJKP23F1)

TOPICS

測定環境に依存しない革新的な静電容量型水位計を開発、スマート農業や防災力向上など社会課題の解決に向けた実証展開へ

航空宇宙分野で培ったセンシング技術を活かし、農業・防災分野向けに高精度かつ低消費電力の水位計を開発しました。これまでの静電容量型水位計は温度や周囲環境の影響を受けやすいという課題がありましたが、独自の検出方式により測定環境に依存しない安定した水位計測を実現しました。開発した水位計はスマート農業の推進や脱炭素化に向けた取り組みに活用されており、さまざまな機関・企業との連携が進んでいます。また、国土交通省の「ワンコイン浸水センサ実証実験」に参画し、低コストのリアルタイム監視により地域の防災力向上に貢献しています。当社はこれらの取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



水位計(左)／送信機(右)

航空電子グループはお客様のNo.1パートナーを目指し、“ものづくり改革”を推進しています。内製力とグループ一貫生産体制を強みに、ものづくり企業の基本である、**Quality, Cost, Delivery** の満足度向上を目指した改革に、設計、生産技術、製造の三位一体で日々努めています。

また、自然災害等の事業継続リスクに備え、グローバルサプライチェーンの強化、生産拠点の防災対策や多拠点生産化など、BCP対策を推進していきます。

徹底した内製化・自動化・省力化による生産性の革新

弘前航空電子、山形航空電子をはじめとした国内・海外生産拠点において、独自設計の自動化・省力化設備を7days24H稼働させ、徹底した内製化により強靱な生産体制を確立しています。

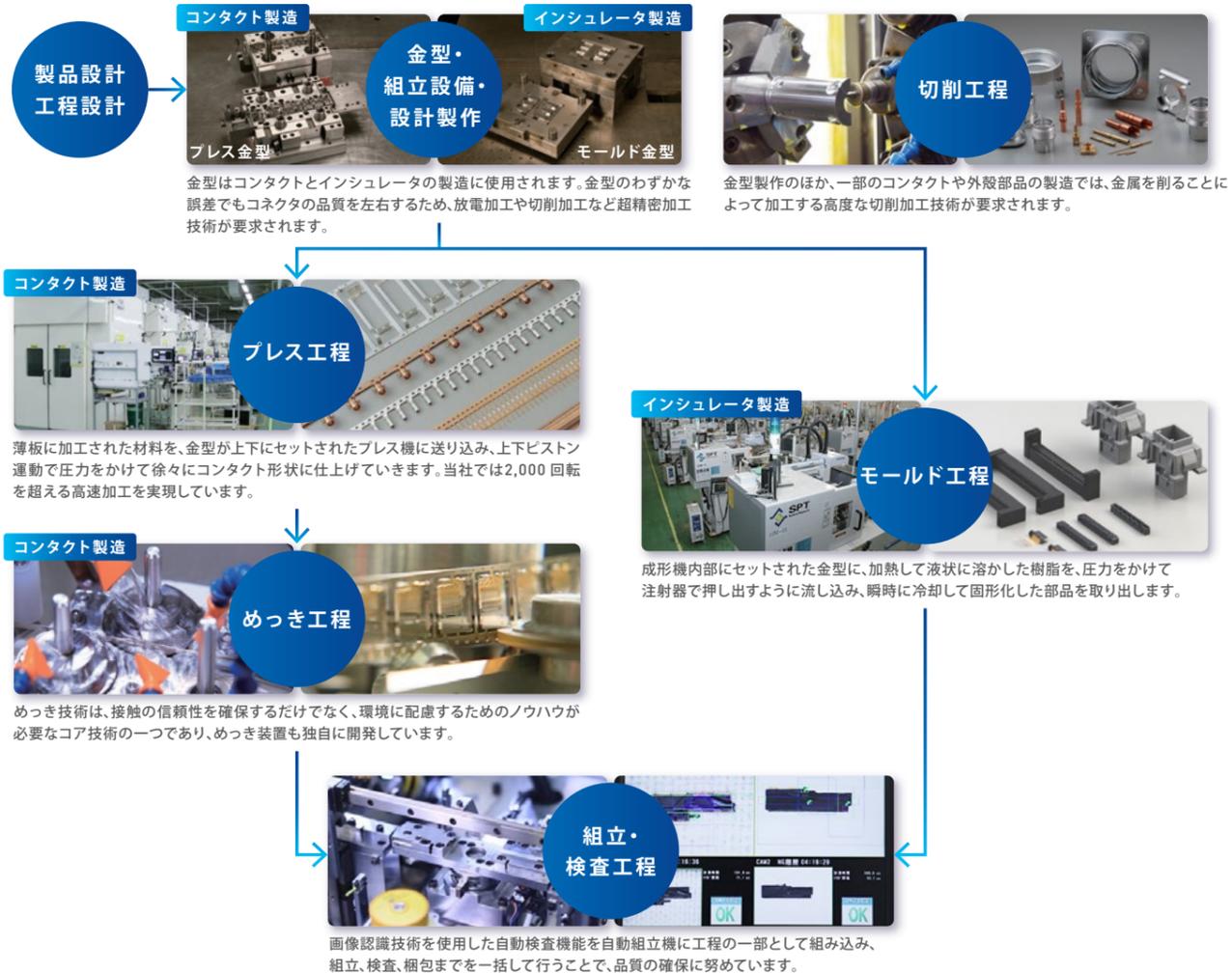
切削、モールド、プレス、めっきなどの部品加工から製品組立に至る各工程において、高度なものづくり力に磨きをかけ、“加工スピードの変革”に絶えずチャレンジしています。

コネクタ生産工程

コネクタは通常2ピース構造となっていて、片方がプラグ、相手側はレセプタクルと呼ばれ、これらが一対となってコネクタの「つなぐ」「切り離す」といった機能を果たしています。

また、プラグ、レセプタクルは、ともに電気を通すコンタクト、コンタクトを保持しコンタクト間の絶縁機能を果たすプラスチックで出来たインシュレータ、これを保護するシェルと呼ばれる外殻部品から構成されています。

コネクタのものづくり技術
<https://vimeo.com/631784918>

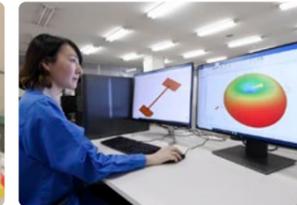


お客様視点での品質&扱いやすさの追求

材料分析、高速伝送評価をはじめ、基本的な性能確認試験、設計検証、FMEA解析、できばえ評価など新製品開発段階から品質や扱いやすさを追求し、さらにクリーンルーム生産、品質改革活動等、製造段階での未然防止に多方面からのアプローチで安心をお届けします。



材料分析



要素解析



高速伝送評価



できばえ評価

評価試験体制を強化・拡充し、お客様へ高信頼性製品を提供

品質・信頼性に対するお客様のより高いご要求にお応えするため、評価試験体制を強化・拡充しています。EMC評価(電磁妨害、電磁妨害耐性評価)をはじめ、総合評価試験棟では、複合環境試験装置、振動試験機など100台以上の試験設備を活用して、温度・湿度などの環境的試験や、振動・衝撃などの機械的試験等を、より高度かつ効率的に実施することにより、お客様に信頼される製品を提供してまいります。



総合評価試験棟



総合評価試験棟に集約された評価設備



電波暗室

ものづくり力強化に向けた人材育成と技術伝承

航空電子グループは、次世代を担う人材を育成し未来のものづくりを支えることで、持続的な発展を目指しています。新入社員研修や職場でのOJTに加え、技術・技能の伝承を目的とする「グローバルテクノセンター」を2005年に昭島事業所に設置し、昭島事業所と海外生産子会社との間で、横断的な技術指導を行いグローバルなものづくり力を育成しています。

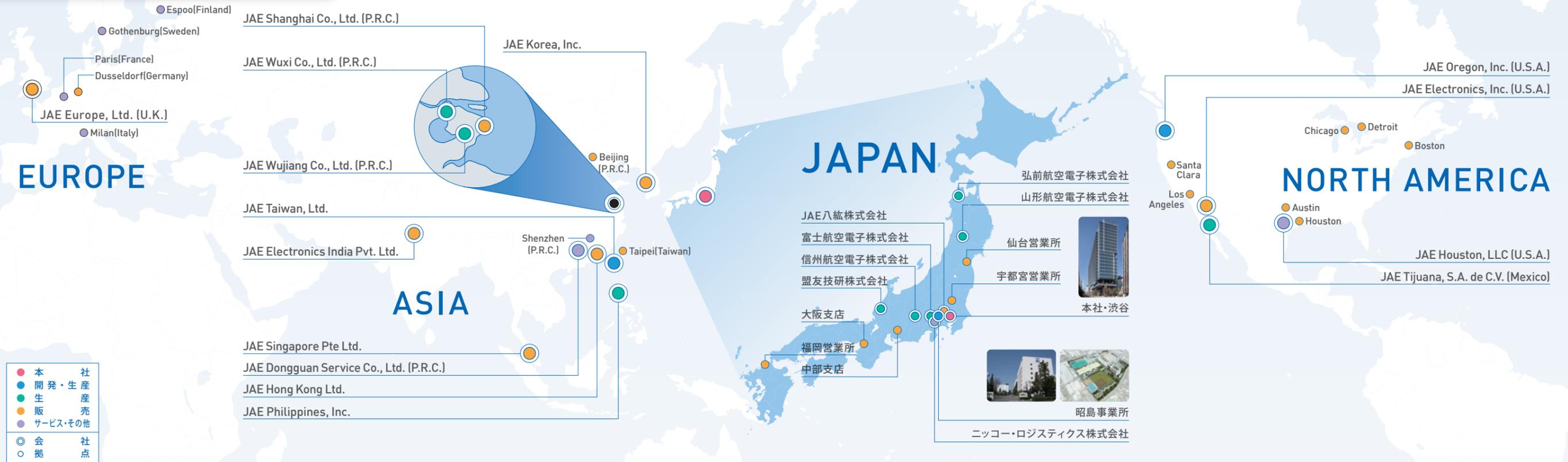
現在では国内外の生産拠点にも独立したテクノセンターを設置し、スキル向上と技能指導者の育成に力を入れています。

また、2013年より導入した技能検定資格取得奨励制度により、奨励金の支給や資格取得に向けた充実した研修システムを展開しています。



グローバルテクノセンターによる技術指導

グローバルネットワーク



本社／国内拠点

本社
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-21-1
TEL 03-3780-2711 FAX 03-3780-2733

本社地区
〒153-8539 東京都目黒区青葉台3-1-19
■コネクタ営業部門
■インターフェース・ソリューション事業部 営業部
■航機営業本部

昭島事業所
〒196-8555 東京都昭島市武蔵野3-1-1
TEL 042-549-9112 FAX 042-549-9559

支店・営業所

- 大阪支店 大阪市西区江戸堀1-9-1
- 中部支店 豊田市西町4-25-18
- 仙台営業所 仙台市青葉区本町2-3-10

- コネクタ事業部
- ワイヤレス事業開発部
- インターフェース・ソリューション事業部

- 宇都宮営業所 宇都宮市東宿郷3-1-7
- 福岡営業所 福岡市博多区御供所町1-1

- 航機事業部
- 商品開発センター

国内グループ会社

弘前航空電子株式会社 生産
青森県弘前市大字清野袋5-5-1
https://www.jae.com/hirosaki

山形航空電子株式会社 生産
山形県新庄市大字泉田字高台新田4102-6
https://www.jae.com/yamagata

富士航空電子株式会社 生産(設備)
山梨県上野原市上野原8154-35
https://www.jae.com/fuji

信州航空電子株式会社 生産
長野県下伊那郡松川町上片桐800
https://www.jae.com/shinshu

盟友技研株式会社 生産(設備)
福井県福井市片山町2-1
https://www.meiyu-giken.co.jp

JAE八紘株式会社 販売
東京都立川市栄町6-1-1 立飛ビル7号館
https://www.jae.com/hakko

ニッコー・ロジスティクス株式会社 サービス・その他
東京都昭島市武蔵野2-10-40

弘前八紘株式会社 生産

航空電子ビジネスサポート株式会社 サービス・その他

ニッコーフーズ株式会社 サービス・その他

海外拠点

ASIA

JAE Taiwan, Ltd. 開発・生産 販売
漢字表記/台湾航空電子股份有限公司
No.35, 20th, Rd., Industrial Park, Taichung,
40850, Taiwan
https://www.jae.com/taiwan
支店/台北

JAE Wuxi Co., Ltd. 生産
漢字表記/航空電子(無錫)有限公司
33 Xiqin Road, Xinwu District, Wuxi City, Jiangsu,
214028 P.R.China

JAE Wujiang Co., Ltd. 生産
漢字表記/航空電子(吳江)有限公司
859 Pangjin Road, Wujiang Economic and
Technological Development Zone Suzhou,
Jiangsu, 215200 P.R.China

JAE Shanghai Co., Ltd. 販売
漢字表記/航空電子(上海)国際貿易有限公司
501-503, Shun Yuan Zhi Ke Building, No.23, 585
Tianshan Road, Changning District, Shanghai,
200336 P.R.China
支店/北京

JAE Hong Kong Ltd. 販売
漢字表記/香港航空電子有限公司
Units 1810-1813, Level 18, Tower 1, Grand
Century Place, 193 Prince Edward Road West,
Mongkok, Kowloon, Hong Kong
連絡事務所/深圳

JAE Dongguan Service Co., Ltd. サービス・その他
漢字表記/航空電子(東莞)服務有限公司
Rm801, 8/F, Changan Taishang Bldg.,
Dezhengzhong Road, Changan Town, Dongguan,
Guangdong, 523850 P.R.China

JAE Philippines, Inc. 生産
JAE Philippines Building, Linares Extension,
Gateway Business Park, Javalera, General Trias,
4107 Cavite, Philippines

JAE Singapore Pte Ltd. 販売
33 Tannery Lane, #02-01 Hoesteel Industrial
Building, Singapore 347789

JAE Korea, Inc. 販売
5F, Korea Sanhak Foundation B/D, 329,
Gangnam-daero, Seocho-gu, Seoul 06627, Korea
http://www.jaekr.com

JAE Electronics India Pvt. Ltd. 販売
202, 2nd Floor, Time Tower, Mehrauli - Gurgaon
Road, Gurugram 122 002, Haryana, India

NORTH AMERICA

JAE Oregon, Inc. 開発・生産
11555 S.W. Leveton Drive, Tualatin, OR 97062,
U.S.A.
https://www.jae.com/en/oregon

JAE Tijuana, S.A. de C.V. 生産
Calle Cerro Colorado 16650 Int. 1 y 2. Colonia
Niños Heroes Este. Tijuana, Baja California, C.P.
22120, Mexico

JAE Electronics, Inc. 販売
142 Technology Drive, Suite 100, Irvine, CA
92618-2430, U.S.A.
https://www.jaeusa.com
営業所/Los Angeles, CA Chicago, IL
Santa Clara, CA Detroit, MI
Houston, TX Boston, MA
Austin, TX

JAE Houston, LLC サービス・その他
1100 W. Park One Dr., Sugar Land, TX 77478-2578,
U.S.A.

EUROPE

JAE Europe, Ltd. 販売
Royal Pavilion, Tower 3, First Floor, Wellesley
Road, Aldershot, Hampshire, GU11 1PZ, UK
支店・駐在事務所/Dusseldorf, Germany Gothenburg, Sweden
Paris, France Espoo, Finland
Milan, Italy

コネクタ事業 インターフェース・ソリューション事業 航機事業

Connectors & Sensors
航空電子
www.jae.com



 日本航空電子工業株式会社

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-21-1
TEL.03-3780-2711



<https://www.jae.com>



本書記載内容の無断転載を禁じます。

2025年7月23日発行